

**令和5年度第1回農業大学校外部評価委員会
議事録（要旨）**

日時 令和5年6月6日（火）14:00～16:00

場所 大分県立農業大学校 会議室

出席者

外部評価委員

大分県高等学校教育研究会農業部会長	佐藤智之
大分県指導農業士会副会長	植木美和
農業大学校同窓会副会長	湯浅正徳
豊後大野市農業振興課長	森下志郎
中部振興局農山漁村振興部長	生野栄城

（欠席委員）

大分県農業法人協会会長	上原隆生
大分県指導農業士会長	池永勝己
J A大分営農担当常務	森本亨

農業大学校

竹中校長、金丸副校長、佐藤次長、古庄部長、有馬部長、安達教授

議事内容

- ・報告事項「令和4年度重点目標等の取り組み結果」及び審議事項「令和5年度運営方針を踏まえた数値目標と主な対策」について、全会一致で承認された。
 - ・委員からあった意見等は以下のとおり
- 新たに整備したイチゴハウスの技術力は
 - 一つの基盤で温度やCO₂等の環境管理ができること、スマホ等の見える化を説明
 - Uターンの受け入れや新規就農促進の観点から運営方針1に研修部のことも盛り込んでほしい
 - 高校やPTAの農大視察状況について教えてほしい
 - 久住高原農業高校や大分東高校等の実績を説明
 - 進路決定は保護者意見によるものが8割を占めており、進路ガイダンス等を充実してほしい
 - これまで通り普通科高校へのアプローチを継続してほしい
 - ドローンフィールドで免許の取得ができるのか

→ 屋外で出来ない訓練を屋内であれば可能であることを説明

・全寮制の見直しについて出された意見等は以下のとおり

- 選択制は社会交流が深まるというメリット、講義に出なくなる、親の経済負担増というデメリットが考えられる
- 寮生活は大変という声を聞いている
- 農大 OB としての意見として、2年間同じ釜の飯を仲間と食べ、かけがえのない人脈ができた。
- 全寮制を理由に農大への進学をやめている高校生もいるかもしれない。久住高原農業高校も通学可能距離であること等の条件付で選択制を導入している。学生は成人であり、時代に沿った見直しをすべきと考える

以上